平成 31 年度の教育活動等に対する学校評価書

令和 2 年 3 月 17 日

学校法人大石寺学園上野幼稚園長　吉野　友勝

学校法人大石寺学園上野幼稚園学校関係者評価委員長　清　信昭

１　幼稚園の教育目標

上野幼稚園は、教育基本法の精神に則り、学校教育法に従い、幼児を保育し、適当な環境を与えて宗教情操の涵養と健全な心身の発達を助長することを目的とする。

本園ではめざす幼児像として

「健やかな体と豊かな心を育てる」ことを目指し、具体的に次の 5 項目を掲げる

１．丈夫な体を持つ子どもに

２．感謝の心、思いやりのあるやさしい心を持つ子どもに

３．豊かな自己表現ができる、創造性を持つ子どもに

４．頑張る心、辛抱強い心を持つ子どもに

５．よく聞き、よく見、よく考えることができる子どもに

２　本年度の重点目標（学校評価の具体的な目標や計画）

評価項目に沿って自己点検、自己評価を実施することによって、教師自らが客観的に自園を見る目を養い、教育内容の改善に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。

３　**自己評価結果とそれに対する**学校関係者評価結果

（※評価点は、A（十分に成果があった）・B（成果があった）・C（少し成果があった）、D（成果がなかった）の段階で表すこと。）

評価項目	自己評価		学校関係者評価委員会	
	評価点	幼稚園としての反省と改善策	評価点	意見
・教育計画は、子どもの実態を的確につかみ、幼児の発達に即した指導が工夫され、具体的な手立てが講じられている。	A	発達段階・個人差を常に考えて計画・実践している。	A	目標にそった運営がされ、工夫があり安定した指導が実践されている。
・園がめざす幼児の姿を具体的にイメージできる。	A	園の目標は具体的でわかりやすい。	A	広いグラウンドでの運動や遊びが健やかな成長につながっていると思う。
・子どもの良さを認めて評価しようとしている。	A	否定文で考えずプラスにとらえほめる。励ますを大事にしている。	A	先生方の子どもを応援する姿がすばらしい。
・遊びを通して工夫したり、協力したりする姿が見られる。また、遊びを通しての総合的な指導ができている。	B	遊びの時間確保が大切。子どもが進んで遊びを見つけられるようにしていく保育者の工夫・関わりが課題。	A	広いグラウンドを走ってあそんでいる姿が印象的。
・規則正しい生活習慣の定着に向けての指導を行う。	B	家庭の理解・協力がないと定着は難しい。	B	家庭の理解・協力への取り組みが見えなかった。相互理解を深めて下さい。
・全職員が年に 1 回以上公開保育を参観し、研修する。	A	他園の様子や様々な保育方法を知ることができる。自分の保育を見直す機会になる。	A	
・各研修会や研究会に積極的に参加して職員に資料提供をする。	A	園外の情報共有ができ視野が広がる。改めて復習する機会になる。	A	
・一人一人の幼児をよく観察するように心がけている。	A	常に心がけ、保護者との情報共有を大切にしている。	A	毎日、先生と親がしっかりコミュニケーションしている。
・教員間の協力的な指導ができている。	B	2 人担任は効果的。きめ細かな巡回や相談は十分ではない。	B	2 人担任が効果的だが、来年度以降の方針が不明確。更なるご尽力に期待。

・保護者の実情や要望による預かり保育ができている。	A	実情に合った十分な保育ができている。	A	預かり保育のシステムは親にとって助かる。
・月のよていや学年だよりの発行など、情報を発信している。 ・情報発信手段として、ホームページを活用するなど、広く周知するための工夫をしている。	A	お便りは、予定や学年・子どもの様子を伝えている。 ホームページは、もう少しきめ細かな更新があると良い。	B	お便りは、定期的に出ており、効果的。 ホームページの充実をお願いする。
･季節の行事や遠足、保育参観の実施状況は、より活発な取り組みになっているか。	A	やや多い面もあり負担が多い時もあるが、四季を感じ伝統文化を知る良い機会となっている。	B	負担が多いのであれば、再考が望ましい。